

直接録音 (PRS Pro) の手引 (いとでんわ)

*作業時は、パソコン備え付けのACアダプターを必ず電源に接続しておきます

I、最初に設定しておくだけでよい録音の準備

1、パソコンの設定

- ①スクリーンセーバー、省電力関係の設定をOFFにしておきます
- ②パソコンに PRSPro (VER2.04) をインストールしておきます

2、録音のための設定

- ①インターフェースにマイクを接続 (INPUTは「MIC」)
→パソコンに接続
- ②マイコンピュータを開き、Dドライブに、DAISY 図書の保存先フォルダを作っておきます
(フォルダ名 例「いとでんわ DAISY」)
- ③PRSPro を起動
 - ・初期動作選択・・・〔作る〕→OK
 - ・録音音声フォーマット設定・・・〔PCM22.05kHz Mono〕→OK
 - ・保存する場所・・・〔いとでんわDAISY〕 (②で作成したフォルダ)
 - ・ファイル名・・・録音設定の為の仮ファイル「test」→保存
 - ・確認・・・ここに、フォルダ「test」を作成して、図書を作りますか?
→OK
 - ・書誌情報設定→OK (設定準備のため記入はしない)
- ④マイク録音のセッティングを確認
 - ・コントロール→・録音ボリュームコントロールの選択 (V) は●マイク (M)
・選択中録音コントロールの再生ミュート (T) は●オン (O)
- ⑤録音設定・・・上のツールバー右から7番目
 - ・フレーズ検知
 - ・フレーズポーズ時間：0.6秒
 - ・ノイズレベル：(-40dB)標準
 - ・録音開始タイミング：音声検知時
 - ・セクション検知
 - ・セクションポーズ時間：なし
 - ・音声ファイル分割：なし
 - ・オプション
 - ・自動録音停止：20秒、
 - ・録音速度：1倍速、
 - ・DCオフセットカット：なし、
 - ・MP3音質：音質優先、
 - ・サウンドブースト：目安に12dBに設定。(使用しているPC他の環境で調整。なし、にすることもある。)

※音量：-10dB~-20dBで録音する。

*以上を確認してOK→セクション1がハイライトされている画面に戻る

⑥音声ガイド設定（オプション→音声ガイド設定）

- ・編集時の音声ガイド：なし
- ・録音時の音声ガイド：なし

II、録音操作（中央と下のツールバー）

①テスト録音・・・録音ボタン1回（黄色の表示でTEST）：10dB位の音量

②本録音・・・録音ボタン2回（ピンクの表示でREC）：「上書き」になっていることを確認。音声によって録音開始される。
書名がサ行などで始まる場合は、頭切れに注意

③停止・・・停止ボタンまたはスペースキー

④訂正・・・上書きボタン1回→パンチインボタン

- ・訂正したいフレーズ番号をハイライト
- ・録音ボタン1回→パンチイン録音（ハイライトした番号以下が表示され、削除範囲を選択。

PLAY（F5）でフレーズ番号ごとの音声を確認することが出来る）→OK（黄色の表示でTEST）

*訂正によってフレーズ数が変わることがあるので、訂正するフレーズの 最初の番号の前 と 最後の番号の後に M マークをいれておくと、訂正箇所がわかりやすい。

- ・録音ボタン1回（ピンクの表示でREC）：訂正（差替え録音）→停止

⑤録音に戻す・・・パンチインボタン1回→上書き

⑥セクションの挿入・・・挿入したいセクションの位置を指定してハイライト→
[編集]→[セクションの挿入]→OK

⑦再生・・・連続再生→緑のボタン

- ・フレーズごとの再生→フレーズをハイライト（マウスまたは矢印）

⑧作業の終了・・・画面の右上の×印をクリック

参フォルダの削除

マイコンピュータ→D ドライブ（いとでんわ DAISY）
→プロジェクト名のフォルダをハイライト→削除

参再生を聞くときの設定

[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンドとオーディオデバイス]
→音声→

A、ヘッドホンで聞く場合・・・[音声再生]・「音声録音」
インターフェースの Audio

B、音を外に出して聞く場合・・・[音声再生] パソコンの Audio

[音声録音] インターフェースの Audio

参ビルドブックをして不要なデータの削除など編集作業が出来るのは、PCM で作成し時だけです。MP3 に変換したあとは、再度、音声エクスポートしなければなりません。繰り返しは音質が劣化するので注意が必要です。

Ⅲ、録音

1、新規録音

①PRSPPro 起動→

- ・初期動作選択・・・[作る] →OK
- ・録音音声フォーマット設定・・・PCM22.05kHz Mono] →OK
- ・保存する場所・・・[いとでんわDAISY] (I-2-②で作成したフォルダ)
- ・ファイル名・・・半角英数と_ (アンダーバー)。63文字内(8文字内位の短めがわかりやすい)。→保存
- ・確認・・・ここに、フォルダ○○○を作成して、図書を作りますか?→OK
- ・書誌情報設定(必要な時、上のツールバー右から3番目)
 - ・タイトル・・・書名(サブタイトルは入れない)
 - ・著者・・・著者名
 - ・ISBN・・・半角英数
 - ・発行者・・・出版社名
 - ・朗読者・・・いとでんわ 音訳者名
 - ・編集者・・・いとでんわ 編集者名

*以上を記入してOK→セクション1がハイライトされている

②ドライブの残り容量を確認・・・上のツールバー右から2番目

③録音(下のツールバー右端)

テスト録音(資料を音読して音量の調整をする)→本録音(必ず再生して録音を確認すること)

2、続きを録音

*録音を途中で終了して、続きの作業をする場合

- ・PRSPPro 起動→[開く] →OK
- ・[ファイルを開く]の画面になり、前回作業の分がでます
[ファイルの場所]に[プロジェクト名]、[ファイル名]に[Ncc.imdn]と自動的に表示されているのを確認→開く(作業途中のセクション1の画面になります)
- ・[BackUp]というフォルダが同時に出来ていますが、常に無視して触らないで下さい

①フレーズに続きを録音する場合・・・続けたいセクションのフレーズを確認後、最後のフレーズの次の行をハイライトしてII-①・②の要領で続けます

②セクションを立てて続きを録音する場合・・・前回の次のセクションをハイライトしてII-①・②の要領で続けます

IV、編集（「いとでんわDAISY 図書録音・編集マニュアル」参照）

1、見出し（セクションの見出し）

- ・どのレベルにあってもセクションの第1フレーズが見出しになる。
- ・[セクションのプロパティ]には原本の見出しを記入する（第1セクションの見出しは書名のみで、著者名やサブタイトルなどは記入しない）。
- ・セクションリストの長さが3秒未満の場合、3～4秒にフレーズで調整する（3秒未満の場合プレクストークで再生できないことがある為）。

2、DAISY 図書凡例

- ・凡例は編集作業が終了してから録音・挿入する。
録音例は「図書編集マニュアル」1を参照

3、目次

- ・目次にある項目と頁は1フレーズにする。
- ・目次のタイトルが「書名+目次」の場合、『目次』だけにする。

4、頁の付け方

「図書編集マニュアル」2を参照

5、原本奥付

「図書編集マニュアル」4ページを参照

6、後枠（後枠という音声はありません）

「図書編集マニュアル」3を参照

7、グループの付け方

「図書編集マニュアル」4を参照

8、ポーズ長について

「図書編集マニュアル」3ページを参照

V、図書の完成《CD-Rへの書き込み》

- ①、編集作業が済み次第、原本目次頁と編集頁の照合、頁付け、G付けの位置等の確認を行い、PCM22.05kHzでの最終ビルドブックをする。
- ②PCM22.05kHzでは容量が多いため、MP3 64kbps（約1/5）に圧縮する。
音声エクスポート
[ツール] → [音声エクスポート (E)] → [音声フォーマットMP3 64kbps] を
選択 → OK
→ [プロジェクトのフォルダ名の入力] → ・保存する場所：「いとでんわDAISY」
・ファイル名：「プロジェクト名+P」

→保存→ [確認] →OK
→ [音声エクスポート] →開始
→音声変換実行中 (容量により変換時間が異なる) → [確認] →OK
(MP3 64kbps に変換された画面)

- ③CD-Rへの書き込み・・・上のツールバー右から5番目
- ・空のCD-Rをパソコンにセット (CD-Rの画面はキャンセル)
 - ・[CD書き込み設定]
 - ・書き込み速度：4倍速
 - ・作成CDの種類：マスター用
 - ・最後のセッション情報；有効
 - ・PLEXTALK Portable Recorder による編集：なし
- ↓
- OK→ [CD書き込み] →開始
→[CD書き込み] (書き込み中→セッションのクローズ中)
→ [終了確認] →CDがポンとパソコンから出てくる→OK

④書き込みが出来たCDが再生可能か否かの確認をする (プレクストークなど)

⑤マスターとして保存する場合は、DVD-RなどにPCM22.05kHzが良いとされている。

以上